

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第1号 ～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

本校は平成28年4月に開校し、7年目に入りました。卒業生の皆さんも今春4回生が巣立ち、本校から大学に進んだ教員志望の1回生が、本校での教育実習を受けに戻ってきます。また、就職し、技能五輪（原則23歳以下を対象に、技能競技を通じ、技能尊重機運の醸成等に資することを目的として実施する大会）でメダルを獲得するような生徒もでてきました。

本校は専門学科（工業科）ですが、就職を主体とする学校ではありません。実際に卒業生は、進学者半数、就職者半数で、若干進学者が増えてきている状況です。

なぜ、本校が大学進学も目指すのか。その理由の一つは、「テクノロジスト」の育成を目指しているからです。本校が考える「テクノロジスト」とは、高度な知識、論理的な思考に基づいた『技術』とものづくりを創造的に行うことのできる『技能』の両方を身に付けた人材で、これからのAI時代を知識と技術・技能で主体的に生き抜くことができる人であると考えています。そのような研究者や技術者、起業家を目指すためには、「大学での学びは不可欠」だと考えます。実際に、卒業生の頑張りや本校の先生方の寄り添いなどにより、京都大学・名古屋大学・名古屋工業大学などの国公立大学に進学しており、普通科高校にも負けられないような実績を出しています。

一方、労働人口が減少する中で、高校卒業後からの就職が脚光を浴びています。本校の就職については、大手企業への就職者が多いことはもちろんですが、より職種にこだわった「技術職での就職」を目指しています。本校で学んだ生徒は、普通科を卒業された生徒の皆さんより、確実に技術・技能を身に付けているので、どちらが企業人として重要視されるかは一目瞭然です。実際に、今年度、自動車メーカーに生産関係職で就職したAさんは研究所へ配属されたり、Bさんは愛知県で初めて高校生として同社の技術職に採用されたりなど、大学を卒業した方々とともに活躍できる職場に配属されています。

このように本校は、将来を先延ばしにするのではなくて、主体的に「進学か就職」を選択でき、どちらも目指すことができる学校として日々成長しています。本校に入学した生徒の皆さんも自分を変革し成長し続けています。

そこで、中学生の皆さんに「愛知総合工科高校」を知っていただくために、不定期ではありますが、本校の先生方から、思いや考えを中学生の皆さんに発信させていただきます。ぜひ皆さんの成長に生かしていただきたいと思います。また、中学生の皆さんを応援するチャンネルの一つとなれたら良いとも考えています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

自分の能力を高めて変化を楽しむ、困難を楽しむ。新しい時代を迎える今、あなたも新しい自分に出会いたいと思いませんか。そんな中学生の皆さんを本校は応援します。私たちは日々信頼される学校になれるよう動き出します。次につながる何かを生み出すためにも、私も自分を変え努力していきます。一緒に頑張りましょう。

このメッセージをご覧になった中学生の皆さんが幸せに近づきますように。

（令和4年5月10日 愛知総合工科高校 山口直人）

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第2号

～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生の皆さん、工業の勉強に一度触れてみませんか？本校は、IoT、AIに関する情報分野をはじめ、機械、電気、建築、土木、デザイン、そしてSDGsと関連付けた化学、理工学分野について幅広く学び、経験できる学校です。他の高校ではできないことが多くありますのでいくつか紹介します。

まずは、ものづくりをするための機材や設備に触れることができます。ロボットシステムの開発や3Dプリンタ、電子工作などコンピュータを用いたものづくりが勉強でき、さらには、2次元、3次元コンピュータグラフィックス、図面作成、プログラミングなど、ソフトウェアを活用することなど先端的な分野にも挑戦することができます。

もう一つは資格取得です。資格は将来仕事で必要となっていくものです。社会人や大学生になると、やることが多くなり、資格取得に力を入れることが難しくなります。電気工事士や国家技能検定、測量士補、危険物取扱者など日本では多くの資格があり、生徒にすすめています。普通科の高校生よりもスキルアップを目指すことができ、技術・技能の点においては一歩先に進むことができるため、おすすめです。

工科高校は普通とは違った視点で勉強ができます。意外と面白いです。それぞれの分野に強い特徴がありますが、追究していく価値があります。私自身も工業高校を出て大学へ進学しました。将来大学に進みたいと思っている人の中には、工科高校から大学への進学は難しいと思っているかもしれませんが、大丈夫です。高校生のときに、いろいろな経験をするのも、面白いと思います。まずは気軽に学校説明会へ遊びに来てください。他の学校とは違うものを見ることができると思います。皆さんが「テクノロジスト」への一歩を踏み出すために愛知総合工科高校と一緒に勉強できることを期待しています。

愛知総合工科高校 住原 真一

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第3号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生のみなさん 今、何に一番興味を持っていますか？私は中学生のころに、スーパーカーと呼ばれる高性能で、大きなエンジンを積んだ格好の良いスポーツカーに憧れ、将来は絶対に乗ってみたいと思っていました。あれから年月が進み、今日の自動車は動力源がエンジンから徐々にモータへと変化し、さらにコンピュータを組込み、あらゆる制御システムを搭載した車が走るようになりました。数年先には自動運転も実用化の段階にきています。当時と比べると、考えもつかなかった新技術が、使われて驚いています。自動車以外にも、私たちの身の回りにはたくさん「もの」があります。その中で、過去には存在しなかったもの（スマートフォン、AI機能を搭載した家電製品など）も多く使われ、私たちの生活はより豊かになっています。このように私たちの身の回りのものをどんどん新しく変えて、魅力あるものをつくり出している人たちは、一体誰なのでしょう？これこそ「テクノロジスト」と呼ばれている技術と技能の両方を身に付けた人たちです。この人たちのお陰で、私たちは常に新しいものに触れることができているのです。みなさんも是非、テクノロジストを目指す学校を覗いてみませんか？

ここで工科高校で学ぶことと、ものづくりについて簡単に触れてみます。冒頭の自動車の例を取り上げますと、スタイルの良い車にするにはデザインの専門技術が、足回りや駆動系は機械の専門技術が、モータの制御は電気、電子情報の専門技術が、材料、材質は化学の専門技術が利用されています。このようにいろいろな専門分野の知識、思考、技術、技能等が絡み合ってもものづくりがされています。つまりいろいろな専門分野の力を合わせることで、良いものが完成するのです。工科高校で学ぶことも同じです。それぞれの学科で学ぶ内容は学科ごとに異なりますが、将来的にどこの学科で学んだことでも必ず役に立っているのです。

愛知総合工科高校では、1年生の前半は各学科の専門の学習を体験し、その後、自分に合った専門分野に進むことができます。みなさんは将来何をを目指したいですか？迷っている人もあると思います。とりあえず興味のあるところから覗いてみませんか？どの分野に進んでも、「やってみたい、今これに興味がある。」という気持ちがあれば、どの道に進んでもいい方向に向くと思います。

私は、愛知総合工科高校の電気科で「電気」を教えています。「電気？」って聞くと、理科のオームの法則を思い出し、「回路計算が難しい。」というイメージがあるかもしれません。電気は目に見えなく、正体不明なものと思われ、難しいと感じる人はいます。しかし、よく考えてみますと、世の中のものは全て電気で動いているのです。私たちの生活を支えているのは電気エネルギーであるのはもちろんみなさん知っていますね。その他に、私たちの心臓も洞結節と呼ばれる部分で、1分間に60～80回の弱い電気信号を発生させて動いています。電気のお陰で世の中は動いていて、私たちも生きているのです。本校電気科の生徒は、「電気の授業は難しいけど、電気は世の中を動かしている魅力があるんだ。いろいろな場所で電気は社会に貢献しているんだ。」と言って自信と誇りをもって勉強に励んでいます。

私は高校時代、将来は先生になりたいと思っていました。でもその当時は何の教科の先生になるかわかりませんでした。学校でいろいろと学んでいくうちに電気の本当の魅力を知り、これ（電気）で教えようと思い工科高校の電気の教員になりました。工科高校は電気科以外にも魅力のある学科がたくさんあります。いろいろな実習装置もたくさんあります。気軽に足を運んで、学校を見に来てください。そして将来みなさんが社会で活躍できるように、みなさんを応援していきます。

愛知総合工科高校 安西 治

中学生の皆さんへ Vol. 4

私は、加工や制御の分野における「ものづくりの楽しさ」を生徒に伝えたいと思っています。

最近、電気自動車やスマホアプリなど、電子制御やプログラミングの人気の高いですが、自分で形を作り上げていく機械加工やそれを動かす機械制御の技術は、コンピュータが進化してもなくなる技術であり、一朝一夕では身に付かないとても奥の深い技能が必要な職種だと思います。

さて、ものを作る装置を例に挙げると、装置は多くの部品から成り立っていて、一つ一つの部品は機械加工などで作られ、部品を精度よく組み上げるには人の調整が必要で全ての調整がされて初めて機械として機能するのです。

ものづくりは失敗から学ぶことがたくさんあります。また、思ったように簡単に作れるものではありません。好きだからこそ良いものが出来ると信じています。学校では専門科目で理論を、実技科目で技能を学びます。そこで学んだ生徒らが社会に出て日本のものづくり業界を活性化して欲しいと願っています。

ものづくりの好きな人がものづくり社会を支えて欲しいと思っています。

愛知総合工科高校 機械制御科主任 山田宏章

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第5号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学3年生の皆さんは今進路について考えて生活している時期ですね。希望する高校に入学するために勉強も頑張っていることでしょう。中学校での勉強は楽しいですか？勉強した内容が世の中でどのように利用されているか考えたことはあるでしょうか？勉強が世の中でどのように役立てられているか疑問を持った人は、進路選択に「工科高校」を考えてみるのも良いと思います。工科高校では勉強した内容が世の中のものづくりの場面でどのように利用されているか体験できる授業が多くあります。「工業技術基礎」や「実習」、「課題研究」と言った科目がそれです。さらに、勉強した内容を利用して、資格検定に挑戦することもできます。

皆さんの先輩の高校1年生の生徒達は6月24日（金）に情報技術検定3級の資格検定を受験しました。情報技術検定は近年、重要性がますます増している情報技術の基礎が出題される資格検定です。先輩たちはプログラムの基本的な作り方をよく勉強し、検定に挑戦してくれました。工科高校では他にも多くの資格検定に挑戦できます。世の中で利用されるものづくりの勉強を学び、資格検定にも挑戦したい人は総合工科に入学すると、楽しく、充実した高校3年間を送ることができます。ぜひ、工科高校を進路の選択肢に加えてみてはいかがでしょうか。

愛知総合工科高校 友田稔昭

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第6号
～ 将来のテクノロジストへの応援メッセージ ～

中学生のみなさんの将来の夢は何ですか？もしかすると、皆さんの中には将来の夢が見つからず、進路選択に悩んでいる人もいるかもしれません。私自身の話をさせていただくと、ちょうど中学生の頃に見たテレビ番組がきっかけで、1級建築士が行う設計という仕事に憧れ、大学では建築学を専攻しました。その後、大学4年生での恩師との出会いをきっかけに、工科高校の教員を志したことを今でも鮮明に覚えています。

夢を追い続けることは、成長するために必要な要素です。私自身、目標達成の大きなモチベーションに繋がると信じています。なりたい自分をイメージすることで、どんなに困難な事でも立ち向かうことができる、そんな力を秘めています。ところが、夢を追い続けると「これは自分にとって本当に正しい選択なのか。」「実はもっと自分に合った夢があるのではないか。」と不安を感じることもあります。私自身がそうでした。大切なことは、みなさんの夢に対する後押し（応援）だと思えます。自分の夢を後押し（応援）してもらうことは、目標達成の大きな原動力になります。そして、後押し（応援）してくれている人がいることで、自分の行動に自信を持つことができ、努力を積み重ねることができます。私も恩師と出会い、多くのことを学ぶ中で「先生のような教員となり、自分の好きな建築学を通じて技術者を育てる」という新たな夢に確信を持つことができました。そして今、教員としての夢を実現させ、みなさんの夢の後押し（応援）をしていくことが、私にとっての使命だと考えています。

愛知総合工科高校には、みなさんの夢を後押し（応援）してくれる環境が整っています。本校の校訓である「夢志（ゆめ）実現、輝かせ 知・技・心」にもあるように、愛知総合工科高校では、最先端の設備機器による「ものづくり」を通して、知識を学び・技術を磨き・心身を鍛えることで、志を持った人材を育成しています。「ものづくり」とは「人づくり」です。私たちは、いつもみなさんに寄り添い、学習・資格取得・進路選択など、夢志（ゆめ）の実現に向けて、全力で後押し（応援）していきます。

愛知総合工科高校 建設科 箕田知之

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第7号
～ 将来のテクノロジストへの応援メッセージ ～

「オキシドールを分解するカタラーゼ」

オキシドールに鶏のレバーを入れると酸素が発生する。中学校時代の理科実験が今でも頭からはなれません。

オキシドールには過酸化水素が3%含まれています。化学式は H_2O_2 で分解して酸素が発生します。今となっては過酸化水素の性質も理解しているし、この現象も理解しています。しかし、中学生の時にこの実験を目の前にして、「なぜレバーなんだろう？」と考え、自宅でいろいろ試してみた記憶があります。レバー以外にも大根おろしの汁も過酸化水素から酸素が分解できました。ここで登場するのが過酸化水素を分解する酵素＝カタラーゼでした。

高校に入りさらに化学を勉強したところで「触媒」の話を知り、大学の講義で「分解酵素」が登場したことで「あのときの現象」の答えがわかりました。中学生の時にちょっとした疑問から興味を持ったことを頭の片隅に置いていたことで、その後に得る知識が吸収されやすくなりました。

皆さんの中にも、「なぜ？」「どうして？」のように頭の中に「？」がある人は、これから勉強することでスッキリすることができるはずです。そうすると、また新たな「？」が生まれてきます。そんな学びを本校でしてみませんか。

応用化学科 森野正行

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ
～デザインに関わる進路を考える皆さんへの応援メッセージ～

私たちは多くの「製品」によって支えられ、快適で便利な生活を送ることができています。衣類、文具、食器、家電、家具、インテリア、乗り物、住宅、駅、公園、道路、橋などなど。その製品のほとんどにデザインが関わっていて、デザインはものづくりに不可欠な存在と言えます。

皆さんがものを購入するとき、どんな基準で決定しているでしょう。値段。大切な要素ですね。機能。新しい機能にはワクワクしますね。外観。自分が好きな色、形、素材感のものを持っているといいですね。デザインは外観、見栄え的なところを整える仕事だと思われがちですが、機能や値段とのバランスを取り、より多くの方が購入しやすく、使いやすく、満足してもらえる製品を作ることが理想としています。本校では機械、電気、建設など、他の分野に触れたうえでデザインの勉強ができるところが良いところだと思っています。

より多くの中学生の皆さんにデザインの勉強をしていただき、将来、ものづくりを通して快適で便利な生活を提供する人になってもらいたいと考えています。

デザイン工学科 飯尾成也

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ
第9号 ～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

愛知県で唯一の学科、**理工科**でニッチな進学を目指してみませんか。

なぜ、普通科（理数科も含む）ではなく、**理工科**で進学を目指すのか。

例えば、高専を卒業後、大学3年生に編入するというニッチな進路があります。同様に、専門高校である本校にも専門高校枠という受験方法があります。しかも、国公立大学にもその枠は存在します（最新情報は各大学で確認が必要です）。本校の過去の進路実績は、ウェブサイト【進路】を参照してください。

また、**理工科**としては、受験のテクニックのみを学ぶのではなく、**理工系**の「学問を学ぶ楽しさ」や「誰もが頭の中に持っている創造性のカギの開け方」を知ってもらうことが大切な目標の一つであると考えています。

本校は、ものづくりの真髄を学ぶことができる学校です。真髄を学べる現場には、イノベーションのヒントがたくさん落ちています。今後の日本には、イノベーションを興す人がたくさん必要です。

そういった「夢」と「志」を体感できる学校、愛知総合工科高校の**理工科**で新しい日本を一緒に創っていきましょう。

愛知総合工科高校 **理工科**主任 谷 欣也

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第10号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生の皆さん、将来の夢はありますか？私の中学生時代は、部活動に夢中で明確な将来の夢もなく、進路希望もなかったように思います。でも、ものづくりは体を動かすのと同じくらい大好きで、昼間は部活、夜はプラモデルやラジコンを作っていたのを、覚えています。自分で作ったものが、完成すると、目の前に現れて、ラジコンであれば走り出す。またそれを自分なりにアレンジを加え、オンリーワンの物を作り上げる。ワクワクしたのを今でも忘れません。今の時代なら、webや動画にいっぱい情報があり、もっと色々なことができただろうなと思います。

そんな私はいつしか自分の考えたものを、世に送り出したいと思い、自動車部品メーカーに就職しました。そこで、設計開発に携わり、その車が今でも街中を走っています。見かけるとワクワクするし、誇らしくも思います。

そして今、愛知総合工科高校で教員をしています。ここでは、ものづくりの基礎基本から応用まで、様々なことが学べます。私のように民間企業経験の教員も多く在籍していて、経験も豊富です。実習環境も日本一の学校です。可能であれば、私が生徒になりたいような学校です。生徒たちが本当に羨ましく思えます。可能性は無限大です。こんな学校に通ってみませんか？五感をフルに活用して、ものづくりを一緒にしましょう。そして、日本にとどまらず、世界で活躍できる、テクノロジストを目指してみませんか？

愛知総合工科高校 機械加工科 水谷 裕

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第11号

～ 将来のテクノロジストへの応援メッセージ ～

皆さんは進学希望の高校をどのように選びますか？

これまでの入試情報から「ここが入りやすい」とか「ここは難しい」など様々なアドバイスをもらい、入れそうな高校を選択していくことが当たり前だと思っていないですか。

少し視点を変えてみてください。例えばロボット・自動車・IT・ゲーム・建物・デザインなどに興味はありませんか？スマホはどうして通信できるのか、ビルはどうやって建てるのかなど、知ってみたい、こんなことをやってみたいという思いから高校を選ぶ方法があります。「入りやすい」から選ぶのではなく、この高校で「こんなことをしてみたい」という視点を持って進学先を選んでみてはどうでしょうか。

本校では全生徒にタブレットが貸与されており、授業やクラス活動など様々な場面で活用されています。「情報を得る」だけではなく「つながる・発信する・創造する」ことが手元で気軽にできるようになりました。

愛知総合工科高校では好きなこと、やってみたいことを最大化することができます。このページにたどりついた人は少なからずそれを感じていただいていると私は思っています。

テクノロジストとしての第一歩を一緒に踏み出せることを楽しみにしています。

総務部 太田祐司

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第12号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

皆さん、高校（大学）の進路選択において卒業後の就職先を意識していますか。私の学生時代は、スマホもネットも無く、足で情報を集めて回り、技術職公務員を目指して工業大学（土木工学）への進学を選択しました。大学・大学院を修了した後は、目標だった公務員としてインフラの設計業務に携わりました。その後、大学院に戻って博士号の学位を取得すると、大学・海外の研究機関で三年間研究職として従事し、帰国してからは工業高校で教育職として勤務し現在に至っています。

人生は紆余曲折の連続ですが、私の場合これまでの経験すべてが本校での教育活動に生きていると実感しています。**公務員の受験指導**では、国土交通省や名古屋市を始め、開校以来多くの卒業生が進路実現するのをサポートしています。**資格試験の学習指導**でも、技術系国家資格の難関である技術士第一次試験に、愛知県の工業高校生として初めての合格者（2年連続合格）を輩出しています。また、**大学への進学指導**については、国公立大学等で工業高校からの推薦に特化した教育課程が編成されている状況を逃さず、工業高校生の強みを生かした受験指導を実践して成果を挙げています。

これは一つの例に過ぎません。本校には建設（土木・建築）以外にも、機械・電気系からデザイン工学まで幅広い分野でキャリアを積み、多様な専門性を有する教職員が、これからの産業界を担う若き技術者（テクノロジスト）を育成しようと心待ちにしています。皆さん一人一人の『夢志（ゆめ）の実現』に向けて、その第一歩を本校から一緒に踏み出しませんか。

愛知総合工科高校 建設科 星川拓哉

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第13号

～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生の皆さん、こんにちは。皆さんは「愛知総合工科高校」にどのようなイメージをもっていますか？「新しい学校なので校舎が綺麗」「都会の学校でキラキラしている」「いろいろな学科があって楽しそう」「校則が厳しそう」「工業の勉強が難しそう」・・・など、様々なイメージをもっていることでしょう。また、「部活動は何部があるの？」「工科高校ってどんな勉強をしているの？」「テクノロジストって、何？」など、いろいろな疑問も湧いてくることでしょう。そんなイメージや疑問を、皆さんの目で確かめに来てください。学校の雰囲気、建物の綺麗さ、どんな勉強をしてどんな部活動をしているのか、ぜひ一度見に来てください。綺麗な校舎で、授業や部活動に真剣に取り組む先輩たちの生き生きとした姿を見たら、「この学校で学びたい！！」と思えることでしょう。

愛知総合工科高校は、愛知県で一番新しい高校です。今、世の中で必要とされる技術・技能・知識・人間力など様々なことを学び、身に付け、自分の目標に向かって突き進むことができる学校です。つまり、あなたの『夢を叶えることができる学校』なのです。ぜひ、あなたの大きな大きな夢を愛知総合工科高校で叶えてください。

皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。ぜひ一度、愛知総合工科高校へ来てくださいね！

愛知総合工科高校 生徒指導部 小林弘典

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ

本校も開校から7年が経ち、今年度で4回目の卒業式を迎えます。卒業式で生徒が口にするのは、部活動や文化祭、体育祭などの学校行事の思い出です。私はそんな高校生活を豊かにしていく部活動や学校行事を担当している生徒会部に所属しています。

多くの中学生から愛知総合工科高校の部活動や学校行事はどうか？という質問を受けますので、お答えしていけたらと思います。

まず部活動ですが、運動部12部活、文化部15部活、合計27部が活発に活動しています。

運動部は、全国大会をはじめ県内でもトップレベルの活躍をしている部活動が多く、目標に向かって汗を流している生徒たちが大勢います。

また文化部では、本校の特徴でもある学科ごとに技術部を有しており、さらに技を磨きたい、知識を高めたい、資格を取得したいといったニーズに応える体制が整っています。

次に学校行事ですが、本校は伝統がないゆえに生徒の意見を尊重して年々変化しています。例えば体育祭も天気や気温に左右されない愛知県体育館で開催をしたり、芸者鑑賞会もより臨場感があり、快適に鑑賞できるよう、今年度から日本特殊陶業市民会館で実施をしたりしています。

そして、本校初となる中学生を招いての文化祭も現在企画中です。

このように学校行事も生徒達が企画、運営をして毎年変化しています。

愛知総合工科高校には、中学生の皆さんが、社会人として成長していける仕組みや楽しい高校生活の一部となる部活動や行事が充実した高校です。

また皆さんに会える日を楽しみにしています。

生徒会部 河村修一

中学生の皆様へ

愛知総合工科高校は校舎を新設し開校 7 年目の学校です。本校のアピールポイントとして、とてもきれいな校舎で学校生活を送れることが挙げられます。北の平和公園と南の東山公園の自然豊かな環境をつなぎ、東山通の美しい街並みを作るというコンセプトで建設された外観は大変美しく、「愛知まちなみ建築賞」「BCS 賞」などを受賞しています。初めて本校を訪れた方々は「ここは大学か？」と驚かれます。また外観だけでなく、内装もきれいで特徴的です。トイレも当然新しくきれいで、実習用の機械は最新型で数も多いです。コンクリートの打ちっぱなしを多く使いお洒落で、剥き出しの配管が可視できるように設計されています。実際に授業で使われており、まさに「生きた教材」となっています。

更に素晴らしいのは本校の生徒で、新しい学校を、美しいまま、次の生徒に使ってもらおうと考えてくれています。通常の掃除は当然真剣にやってくれますし、清掃ボランティアには 150 名程の生徒が例年参加してくれます。校舎内にゴミが落ちていることはほとんどありませんが、それは落ちているゴミを、嫌な顔せず拾ってゴミ箱に入れてくれる生徒が多くいるからかもしれません。トイレのスリッパ等もきちんと揃えてくれる生徒もよく見かけます。自分のことは当然のようにやり、他の生徒や学校のことを考えて生活してくれている、つまり本校の生徒は社会に出ても役立つ力を身に付けてくれているのだと感心させられます。

話は少し変わり、個人的には、夕暮れ後の若干ライトアップされたかのように映る校舎が美しいと感じ、校外から眺めるのが好きなのですが、私には今でも鮮明にその光景が浮かぶ思い出があります。それは、本校には南棟と北棟の間にテラスがあり、眺めは最高、風は気持ちよく、お弁当を食べたり、友達と語り合ったり、素敵な場所です。その場所での 4 年前の出来事です。本校修学旅行でお世話になった台湾、台北市立木柵高級工業高校生が本校に訪問してくれた際に、記念写真をそのテラスで撮っていただきました。撮り終わって振り返るとテラスから見える教室のベランダには本校の生徒が全員出てきて手を振っているというサプライズがありました。圧巻の光景で木柵高校の生徒は涙を流して感動してくれました。その光景が私は一番の思い出です。

皆さんも本校に入学後し、このように恵まれた環境で勉強と部活動に精一杯励んだり、自分だけの「推しスポット」を探したり、うれしいこと、苦しいこと様々な経験をして成長し、数々の忘れられない思い出を作ってください。

保健部 石原 照三

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第16号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生の皆さん、「アンパンマンのマーチ」の曲を知っていますよね。単なるアニメソングだと思っ

♪♪ そうだうれしいんだ 生きるよろこび・・・・・・・・♪♪
♪♪ なんのために生まれて なにをして生きるのか答えられないなんて そんなのいやだ！・・・・・・・・♪♪
♪♪ なにが君のしあわせ なにをしてよろこぶ わからないままおわる そんなのはいやだ！・・・・・・・・♪♪

聴いたことありますよね。この曲に発信されているのは、「自分の人生で本当に望むものは何か、人生の目的は何かをしっかりと考えよう。」ということだと思います。

中学生のみなさんは、自分が本当にやりたいことをしっかりと見出すことができますか。それができれば、おのずと中学校卒業後どういう方面に進みたいかが見えてくるのではないでしょう

か。つまり、どの高校やどの学科を目標とするかが決まってきます。

■情熱・熱意をもつ■

松下電器（現パナソニック）の創業者である松下幸之助さんの言葉に、「熱意がない人が成功する確率は1%だが、熱意のある人が成功する確率は99%である。」というものがあります。

■達成までのプロセスを細部までイメージする■

最近亡くなられた京セラ・第二電電の創業者稲盛和夫さんが、「すみずみまで明瞭にイメージできたことは間違いなく成就する。」とおっしゃっています。

■最後まであきらめない■

途中であきらめてしまえば、当然目標は叶えられません。途中で逃げ出したくなることもあるかもしれません。しかし、目標を叶えたいという強い情熱を常に持って、最後まであきらめずに努力していくことが大事です。

さて、愛知総合工科高校は、将来高度な技術を身に付けた技能者、あるいは優れた技術者になりたいという夢を持った生徒を、その実現に向けて導いていく高校です。本校にはさまざまな学科あり、色に例えるとモノクロではなく、さまざまな色をもつカラフルな学校だといえます。進学したい人、就職したい人、機械を学びたい人、電気を学びたい人、建築やデザインを学びたい人、様々な生徒がいます。またその生徒をサポートする経験豊かな教職員がいます。生徒の皆さんの個性に応じて、寄り添いながら夢を実現してくれるすばらしい高校だと思います。

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第17号
 ～ 将来のテクノロジストへの応援メッセージ ～



日本全国の高校1年生から3年生の男女を対象に「将来一番なりたい職業」の調査をLINEリサーチが行っています（実施時期：2021年9月7日～8日、有効回収数1044人）。中学生の皆さんも先輩方の希望調査に興味があるのではないのでしょうか？少し紹介してみます。まず割合で一番多

将来一番なりたい職業			(LINEリサーチ調べ：単一回答)		
男性			女性		
1位	教師・教員・大学教授	8.1%	1位	看護師	6.8%
2位	国家公務員・地方公務員	7.7%	2位	教師・教員・大学教授	4.9%
3位	システムエンジニア・プログラマー	6.2%	3位	国家公務員・地方公務員	4.6%
4位	機械エンジニア・整備士	3.7%	4位	事務職・営業職	4.4%
5位	事務職・営業職	2.9%	5位	保育士・幼稚園教諭	3.5%
5位	ゲーム業界の仕事（ゲームデザイナー、ゲームクリエイターなど）	2.9%	6位	医師	3.2%
7位	設計者・開発者・工業デザイナー	2.7%	7位	栄養士・管理栄養士	2.7%
8位	警察官・消防官・自衛官	2.5%	7位	薬剤師	2.7%
8位	学者・研究者	2.5%	9位	警察官・消防官・自衛官	2.3%
10位	旅行業界の仕事	2.1%	9位	シェフ・パティシエ・料理人	2.3%
10位	医師	2.1%			
	決まっていない・わからない	21.9%		決まっていない・わからない	15.2%

いのは「決まっていない、わからない」です。自分が何をしたいのか？何に向いているのか？悩んでいる人が高校生に意外と多いことがわかります。また、男性、女性の希望1位はそれぞれ「教師・教員・大学教授」、「看護師」で、これらの職業に就くためには大学や専門学校へ進学し、多くが資格取得必修を条件としています。男性の3位「システムエンジニア・プログラマー」、4位「機械エンジニア・整備士」、5位「ゲーム業界の仕事（ゲームデザイナー、ゲームクリエイターなど）」と工業に関する職業に人気があることがわかります。4位の「機械エンジニア・整備士」については、以前は大学や専門学校に進んだ後に目指す人が多かったのが、近年は企業側から専門に関する基礎知識を持った工科高校卒の生徒を求めるケースが増えてきています。3位、5位の「システムエンジニア・プログラマー、ゲーム関係の仕事」については、高校卒での求人は少なく、専門に関する大学や専門学校に進んでからこれらの仕事に就く人が多いというのが現状です。

さて、本校の特色について触れてみます。特色は何と言っても「進学も就職もできるおいしい学校」であることです。「何をしたいかわからない」大いに結構です。自分が何に向いているか1年生の前期で7学科の特色ある実習を経験して、先生方と面談することで自分の進むべき道が見えてきます。1年生後期からは所属学科に分かれて、職場・学校見学、インターンシップを含めたキャリア教育活動に参加し、専門教科を学ぶことで、更に自分の将来のイメージがはっきりと出来てきます（不安が取り除かれると、今度は将来を考える事が楽しくワクワクしてきますよ！）。

昨年度の本校卒業生は、56%が進学（毎年国公立大学合格者を輩出）、44%が就職（民間企業の技術・技能職、公務員技術職など）の道に進んでいます。中には大手企業に勤め、その中のグループでは自分だけ高卒、他は皆超難関有名大学院卒の中で、開発を行っているという先輩もいます。「いろいろな可能性を実現することができる」これが本校、愛知総合工科高校の魅力です。いかがだったでしょうか？自分の将来を考えるにあたって、本校を大いに活用し飛躍してみませんか？皆さんと共に学び、将来のことが考えられることを楽しみにしています。

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ

中学生のみなさんは本校にどのようなイメージをもっていますか。本校は、創立7年目のまだまだ若い学校です。私が7年前に赴任した際には、新しい学校ということもあり、生徒たちとともに、何事も手探りで進めていたことを覚えています。こうして7年が経ち、生徒たちの素直さ、そして生徒たちを支える先生方の温かさを日々感じる中で、本校の良さを改めて実感しています。

本校の生徒たちは、さまざまな分野で活躍をしています。例えば、卓越した技術・技能を身に付け、技能五輪で活躍する生徒がいます。また、「あったらいいな」というアイデアを実際に形にして、席替えが簡単にできるプログラムを作ってくれる生徒もいます。部活動においては、様々な部活が全国大会や県大会といった上位大会で数々の実績を残しています。さらに、進路面では、企業の内定率は100%、進学においても、毎年、多くの生徒が進路希望を叶え、難関とされている大学への道も切り開いています。

そうした生徒たちの活躍を支えているのは、先生方との厚い信頼関係です。先生方の高い専門性とひとりひとりに寄り添った指導が、生徒たちの可能性をさらに広げているのだと感じます。私がこの学校で生徒たちから教えてもらったのは、「夢は叶う」ということです。中学生の皆さん、本校と一緒に学び、夢を叶えませんか？

愛知総合工科高校 進学主任 小島裕美

先日、大学入試センターより令和7年度共通テストの試作問題が公開されました。

(https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7ikou/r7houkousei.html)

『情報Ⅰ』第3問の概要に、『日常的な買い物において、代金を支払う際の「上手な払い方」を考えるとという**問題解決**の題材において、基本的な**アルゴリズム**と**プログラミング**の基本に関する理解を基に、示された要件を踏まえたプログラムについて**論理的**に考察できるかを問う。』と書かれていました。次のような問題です。(詳しくは上記の URL を参照してください。)

『情報Ⅰ』試作問題第3問要旨

46円を支払うには、10円玉4枚、5円玉1枚、1円玉1枚という**6枚**で払い方が最小の枚数になります。一方、同じ46円を支払うのに、51円を支払って釣り銭5円を受け取る払い方では、支払いに2枚、釣り銭に1枚で、合計**3枚**の硬貨のやり取りになります。こうすると交換する硬貨の枚数の合計が最小になります。先生と生徒が対話しながら最小交換硬貨枚数を計算するプログラムを作る内容です。



中学生の皆さんも、財布をなるべく軽くするために、コンビニエンスストアや飲食店の会計で、この問題のように支払った経験があると思います。(しかしながら、最近は電子マネーの普及で、現金支払いは減ってきてはいますけどね。) この問題から、これからの高校生に求められる資質・能力は何かを考えてみましょう。

1 読解力：さまざまな情報を的確に読み取ったり情報同士を関連付けたりする力

情報Ⅰの試作問題は34ページ(第3問は6ページ)もあり、60分の制限時間内に問題に答えなければなりません。問題文の中には図や表がたくさんあり、読解力が十分に育っていないと解答することができません。日ごろから、紙や電子書籍を問わず、論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について論述したり、批判したりする活動が必要です。また、複数の文章や図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことを要約したりする能力も必要です。

2 論理的思考力：根拠を明確にしたうえで、筋道を立てて考えを構成し、組み立てる力

この最小交換硬貨枚数を計算する問については、先生と生徒の対話の情報から求められている条件に応じ、数学的論理を用いて言語化・記号化して記述し、結論である答えを導かなければなりません。つまり、教科書の丸暗記をして留まっているだけではこのような問題に全く太刀打ちができないのです。自ら言語化したものが数学的に処理できるかを考慮しつつ、発見的にある種の結果を求める思考を発言や活動に反映させる訓練をしておいてください。

将来のテクノロジストへの応援メッセージということで、最後に私の好きな文を掲載しておきます。

人生において、「成功」は約束されていない。

しかし、

「成長」は約束されている。

本校でお会いできる日を楽しみにしております。

広報・ICT推進担当 川田大介 拝

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第20号

中学生の皆さん、こんにちは。早速ですが、皆さんが「高校に進むにあたって重要視するポイント」には、どんなことがありますか。通いやすきでしょうか、自分がやりたいことができるのでしょうか。人によってその理由は様々だと思います。いろいろな希望をもって、数多くある高校の中に、この愛知総合工科高校が選択肢に入っているとすれば、私たちにはとても嬉しいことだと思います。

現在私は1年生を担当しています。名古屋市内からだけでなく愛知県内の広い範囲から本校に通学している生徒も多くいます。これまでの小学校や中学校と違い、この愛知総合工科高校で出会う人たちの中には、「これまでに行ったことのない場所」から通学して、「これまでに出会ったことのないタイプ」のクラスメイトや仲間恵まれます。ダイバーシティ（多様性）とも言われることです。それをどのように捉えるかで、短い高校生活は随分と充実度が変わってきます。知らないことに会って、それに対処していくのは少々の勇気が必要ですね。しかし、皆さんが高校に進学して出会うこと、特に1年生だとほとんど全てのことが新しいこと、初めてのことです。思い通りにいかないこともたくさん出てくるでしょう。ただ、「今はできない」ことは「絶対できない」ことではありません。高校生になって、自分の得意分野以外で見たり聞いたりすることを積極的に吸収していける環境や、皆さんそれぞれの得意分野を新たなステージで発揮できるような環境が、この愛知総合工科高校には必ずあると思います。

深い学びと、広い視野をもって未来の「ものづくり」に貢献するだけでなく、その分野の先頭に立って進んでいける人を私たちは応援していきたいと思っています。今はまだ目の前にあることを淡々とこなすだけでも大丈夫です。その積み重ねがあれば今までよりも一段高い所から物事を見ることができます。昨日までの同じ景色も、中学生の皆さんが心身ともに成長してみる景色では、全く違って見えることでしょう。たくさん学んで、時にはたくさん失敗して、その度に立ち上がって、一緒に成長していきましょう。

愛知総合工科高校 1年学年主任 杉本 敬

中学生の皆さんこんにちは。

先日のサッカーワールドカップを皆さん見ていましたか？日本が強豪ドイツ、スペインを下し、決勝トーナメントに進んだことは連日ニュースになっていました。その中での吉田麻也選手のロッカールームでの声かけや長友佑都選手の言葉など、とても心に残り感動しました。そして、ワールドカップを応援する日本のサポーターが会場を掃除して帰る行動は同じ日本人としてとても誇らしく、私自身も真似をしようと思いました。これが日本のクオリティで間違いなく世界に誇れることだと思います。

他にも日本が世界に誇れることは何でしょう？沢山あると思いますが、その中の一つに『モノづくり』があると思います。『made in Japan』となっている商品はどこか安心しませんか？この安心できる次世代のモノづくりを支えていくのは今これを読んでくれているあなたです。『モノづくり』の現場では技術力はもちろんのこと、今では開発等の研究のために知識が必要とされることが多くあります。愛知総合工科高校はそういった技術と知識の両方を持った生徒の育成に力を入れています。実習などの授業を通して技術の力を磨き、座学で知識を付け、その知識を更に専門的なものにするために大学に進学する生徒も多くいます。昨年度、『理工科』という新しい学科を設立しました。この理工科で技術力・知識を持った生徒の育成に力を入れ、大学進学を目指しています。その他にも6つの学科『機械加工科』『機械制御科』『電気科』『電子情報科』『建設科』『デザイン科』があり、現場で『モノづくり』を支えるための技術力を付けています。中には大学に進学する生徒もいます。

愛知県は、モノづくりが盛んな都道府県の1つです。世界で誇れるモノづくりをするために必要なことは、技術を磨き・知識を付けることです。そして、モノづくりは何処かで人々を支え、生活を豊かにし、時にはサッカー日本代表選手のように多くの人々に感動を与えていると思います。皆さんも愛知総合工科高校で学び、成長していきませんか？我々はそれをサポートしたいと思っています。未来の日本の為に共に成長していきましょう！

出会いとチャンス

中学生の皆さん！

中学校を卒業すると、次のステージに進みますね。

これからは、どんな時代になるのでしょうか？

私には、まったく、予想がつきません。

しかし、誰にでも与えられるものがあります。

それは、「**出会いとチャンス**」です。

これからの人生の出会いも大切にして、

そして、チャンスを掴み取り、行動してみてください。

きっと、素敵な人生が待っていると思います。

もし、皆さんが、本校(愛知総合工科高校)に入学したら

私は、皆さんとの出会いを大切にして、一緒に過ごしたいと思っています。

待ってます。

3年 学年主任 余吾卓志

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 令和4年度最終号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

いよいよ本校も、令和5（2023）年度の愛知県公立高等学校入学者選抜（推薦選抜・一般選抜）が始まってまいります。

この「将来のテクノロジストへの応援メッセージ」は、令和4年5月から令和5年2月まで、合計22回、「愛知総合工科高校」を知っていただくとともに、皆さんの成長に繋げていただきたいことから、本校の先生方の思いや考えを中学生の皆さんに発信させていただきました。いかがでしたでしょうか。読んでいただけた中学生の皆さんがいましたら感謝したいと思います。ありがとうございました。

この中で、中学生の皆さんを応援するチャンネルの一つとなれたらと考えていましたが、「愛知総合工科高校」を知っていただく内容が多くなり、目的の一つである皆さんを「応援する」ところまで至らなかったのではと反省しています。しかし、いろいろな先生方のメッセージの中に、先生方の貴重な経験談や今の自分をより向上させていくヒントが散りばめられており、皆さんを応援したいという思いを感じていただけたのではと思っています。

「自分で自分を教育しなければならない。みんなが生きている時代はそれがすごく大事」と、イチローさんの言葉にもあるように、現在、私たちが置かれている状況では、自分に厳しく、自分を教育していくことが必要です。そのことを常に自分のポリシーとしながら、「普段の行いを大切にすること」や「見方・考え方を働かせること」などをしっかり意識し、これからもお互いに頑張っていきましょう。

1年間ありがとうございました。また皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

このメッセージをご覧になった中学生の皆さんが幸せに近づきますように。

（令和5年2月1日 愛知総合工科高校 山口直人）